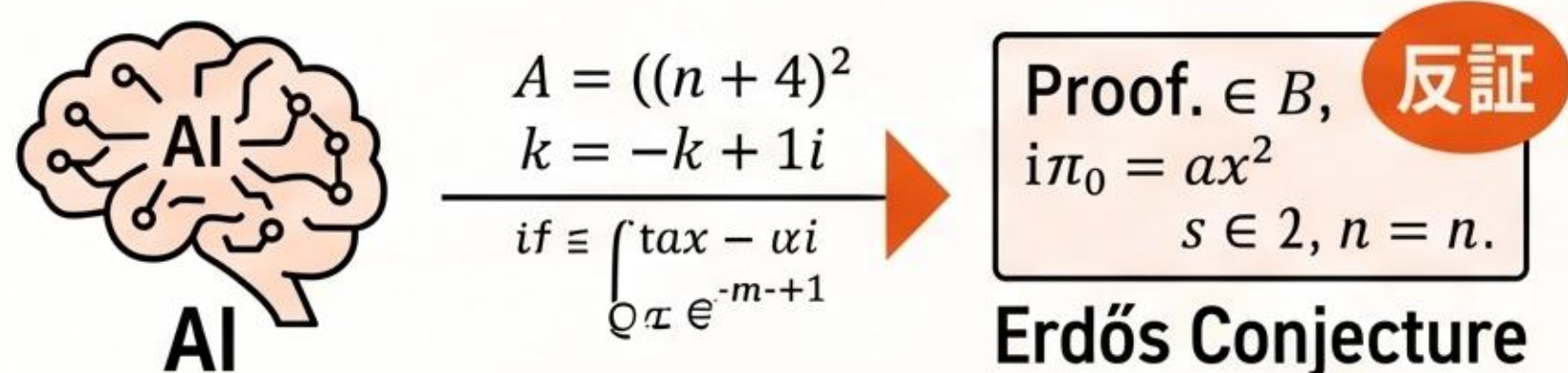


## 今朝のホットな話題

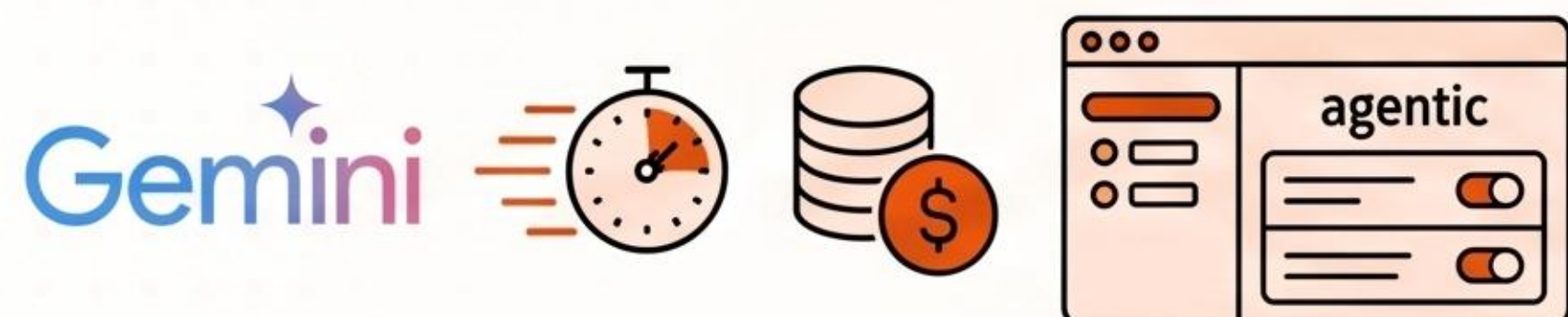
1. OpenAI の汎用推論モデルがエルデシュ予想を反証 - AI が初の未解決数学問題を自力解決



2. OpenAI Codex 「Appshots」と画面ロック時のコンピュータ操作 - Macの文脈をワンタッチでエージェントへ



3. Google 「Gemini 3.5 Flash」が一般提供開始 - 軽量・高速・低コストの agentic 向けライン



# 2026.05.22

## MORNING DISPATCH / Vibe Coder Bootcamp Tech News



# 8 トピック を整理。

<IMAGE 0>



# OpenAI の汎用推論モデルがエルデシュ予想を反証 — AI が初の未解決数学問題を自力解決



news

## 🔍 何が起きた？

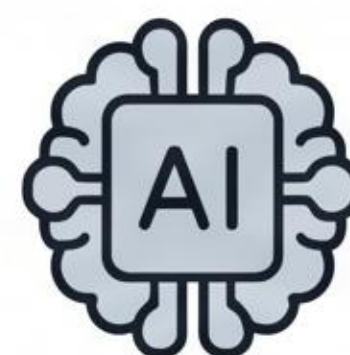
OpenAIの内部推論モデル（数学特化ではない汎用モデル）が、離散幾何学で約80年未解決だったエルデシュの「平面単位距離予想」を反証する証明を自力生成。1946年に Paul Erdős が提起した「平面上上に  $n$  点を置いたとき距離1のペアは最大いくつ作れるか」という問題で、長年最適とされた格子配置に反例を与えた。証明は代数的整数論の手法を幾何学に持ち込んだ独創的なもので、3名の独立した数学者が正しさを検証済み。

## 📌 主な変更点

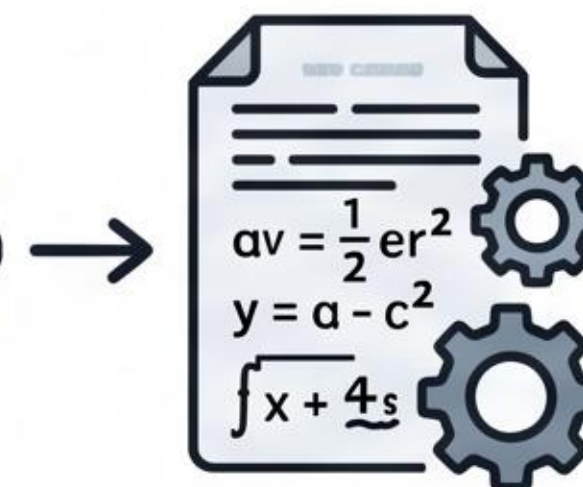
- 数学特化ではない汎用推論モデルが、文献の焼き直しではない新規の証明を自律生成
- 対象は離散幾何学で最も有名な未解決問題（Erdős 単位距離問題、1946年提起）
- 証明 PDF が公開され、図版なしのテキストのみで構成
- 3名の独立した数学者が証明の正しさを確認

## 💡 なぜ重要？

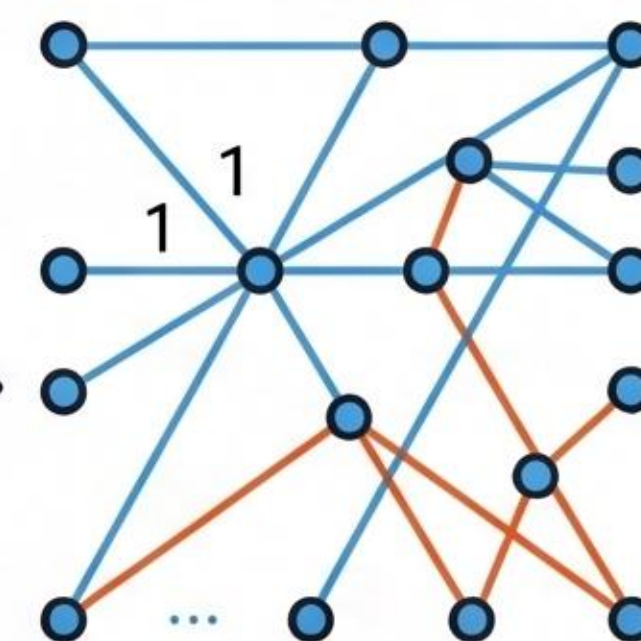
Sam Altman 氏はこの成果を「AI が研究を加速する大きなマイルストーン」と評価しつつも、「複雑な気持ちもある」と言及。AGI（汎用人工知能）の進展と、人間による検証プロセスの重要性が再確認された。独創的な証明生成能力は、他分野への応用も期待される。



汎用推論モデル AI



独創的な証明 (代数的整数論 + 幾何学)



反証された問題：エルデシュの平面単単位距離予想 (1946年提起)



3名の独立した数学者が正しさを検証



**約 80年**  
(未解決期間)



**1946年**  
(問題提起)



**3名**  
(検証者)

## ✖ Xでの反応 / コミュニティ検証

Sam Altman (「複雑な気持ち」) 👍 6,246

Sam Altman (「AGI が研究を加速」) 👍 7,878

Hongxun Wu (解説スレッド) 👍 900

## 🔍 何が起きた？

「Codex Thursday」恒例アップデートで OpenAI Codex に複数機能が追加された。目玉は「Appshots」—— Mac で Command キーを 2 回押すと作業中のアプリウィンドウを Codex スレッドに添付でき、スクリーンショットに加え画面外も含むウィンドウのテキストを取得する。あわせて Mac の画面がロック・オフ状態でもスマホから Codex が Mac 上のアプリを安全に操作できるようになった。

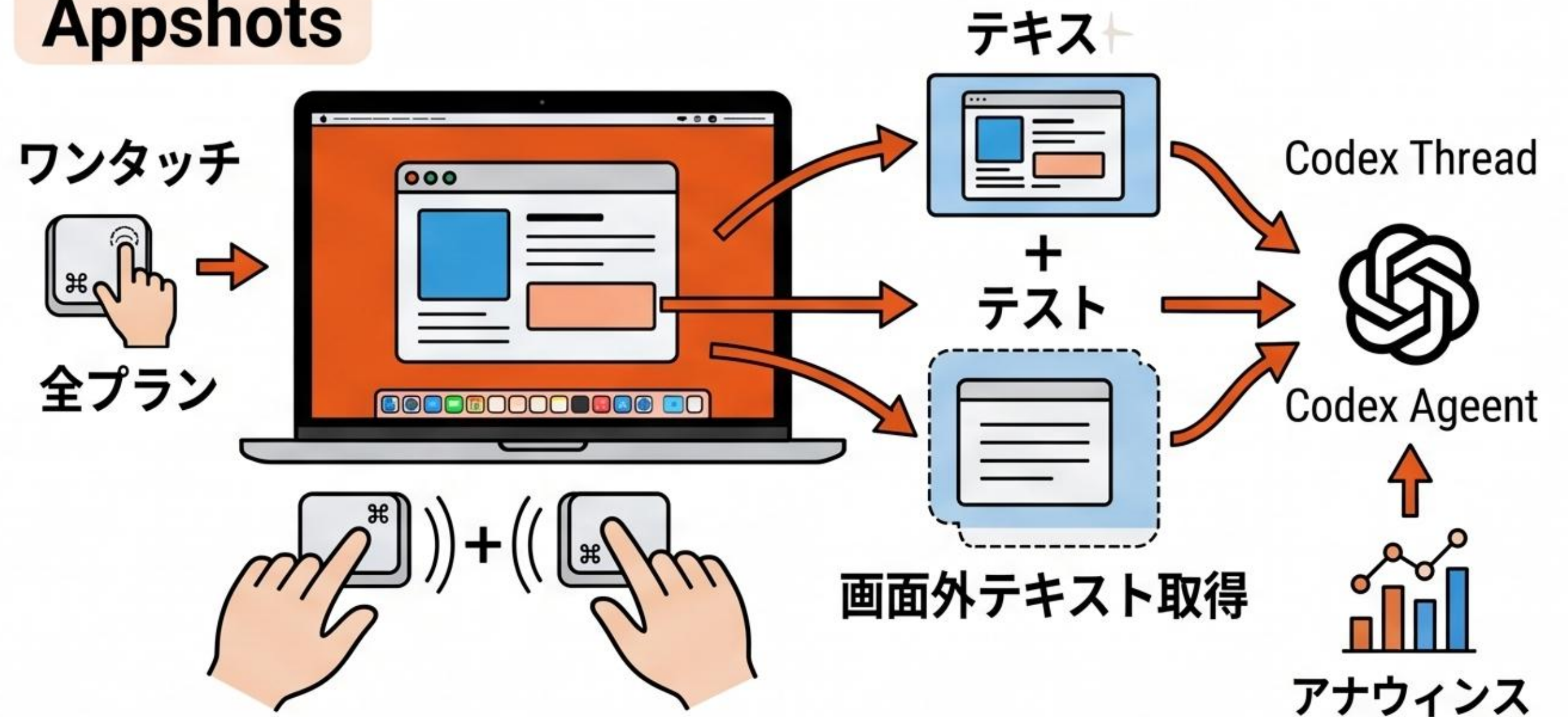
## 📌 主な変更点

- Appshots: Mac で Command 2 回押しでアプリウィンドウを Codex に添付。スクリーンショットに加え画面外テキストも取得（全プランの Mac で利用可）。
- 画面ロック/オフ状態でもスマホから Codex が Mac のアプリを操作可能（locked use）。
- in-app browser に高度な注釈モード追加 — 要素を直接調整しコメントをバッチ送信、即時プレビュー。
- チーム間でカスタムプラグインを配布・再利用（Business 向け）。
- Codex Analytics 強化（アクティブユーザー / クレジット / トークン / 実行数 / コード行数など）。

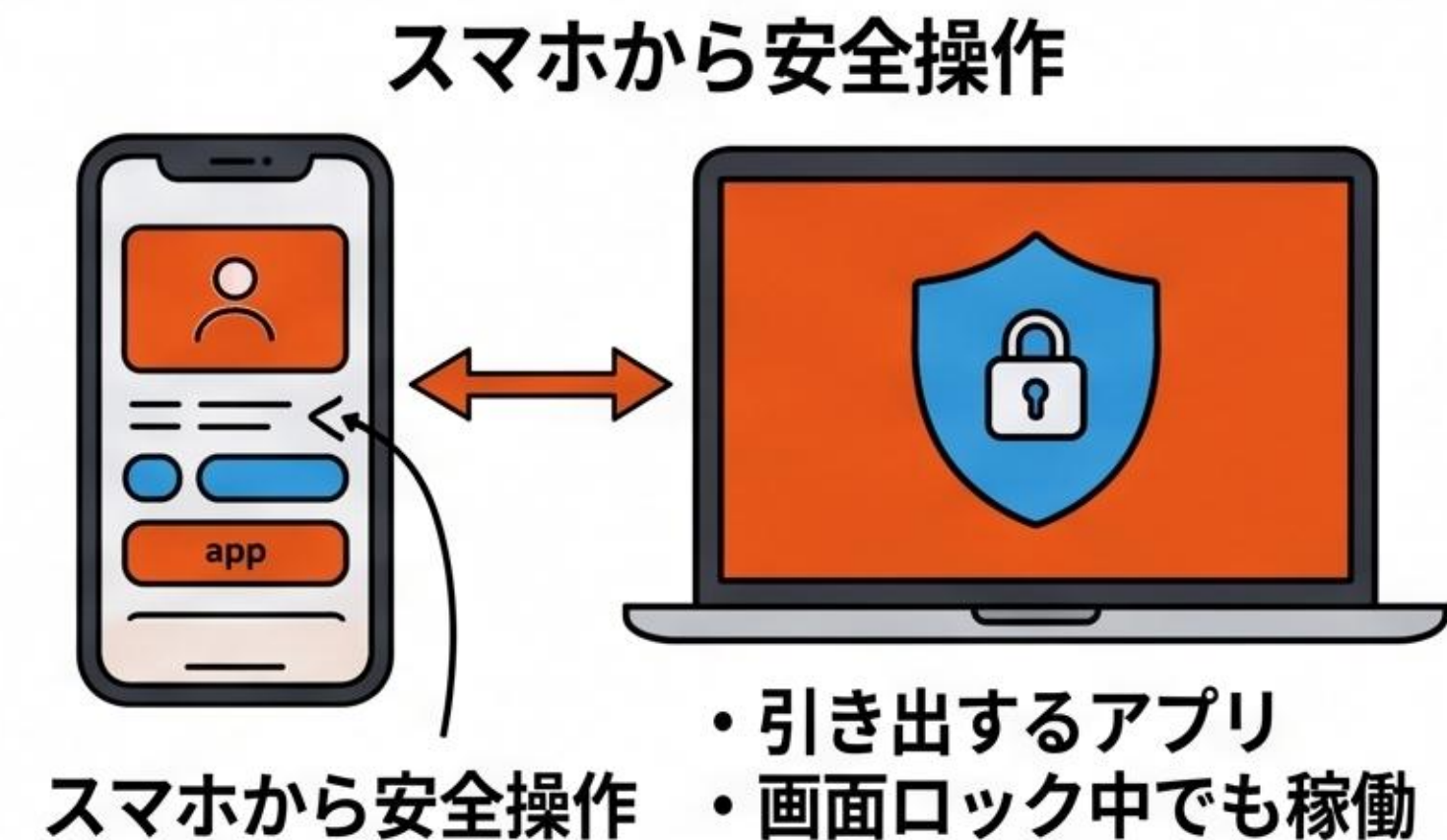
## 💡 なぜ重要？

Mac のコンテキスト（画面+テキスト）を瞬時に共有し、離れた場所やロック中でも安全にエージェントによる操作を可能にすることで、PC 作業のさらなる自動化と効率化を加速。

## Appshots



## Locked Operation



3,761 👍  
likes (Appshots発表)

3,683 👍  
likes (ロック時操作発表)

## 🔍 何が起きた？

I/O 2026 で予告されていた Gemini 3.5 Flash が一般提供 (GA) 開始。低レイテンシ・低コスト志向のモデルで、agentic ワークフローや高ボリューム用途に向く。

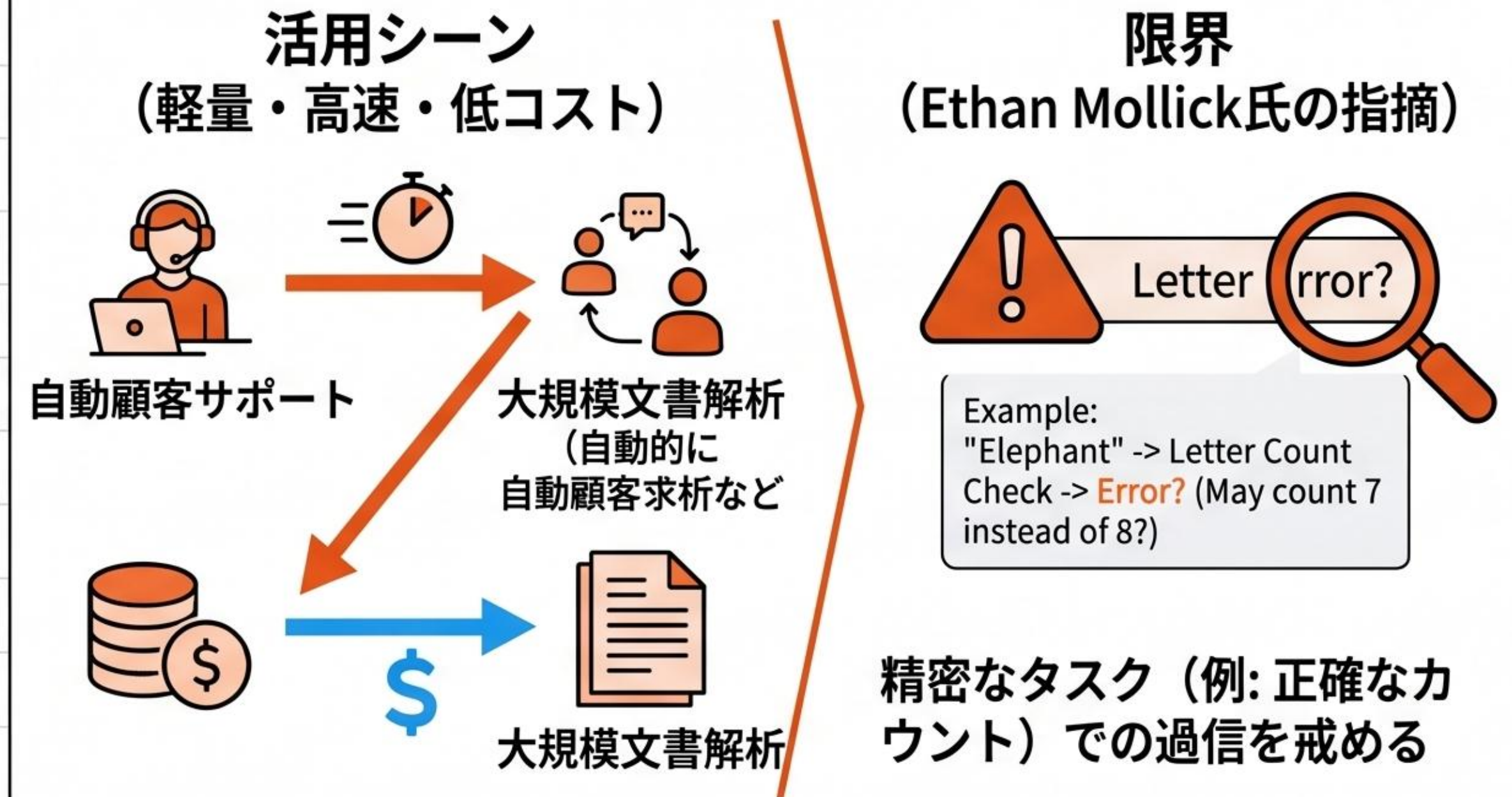
## 📌 主な変更点

- Gemini 3.5 Flash が一般提供開始 (GA)
- 軽量・高速・低コスト志向、agentic / 高ボリューム用途向け
- 上位の Gemini 3.5 Pro は安全性テストのため公開を控えているとの観測
- Mollick氏は軽量モデルゆえの精度限界 (単語中の文字数カウント誤り等) の実例も指摘

## 💡 なぜ重要？

低レイテンシと低コストにより、これまで困難だった大規模・即時的なAIエージェントの展開やデータ処理が可能に。一方で軽量モデルの性能限界 (精度のムラ) も理解して利用する必要がある。

## Gemini 3.5 Flash の活用と限界の理解



## ✂ Xでの反応 (発表ポスト)

📢 Likes: 1,337

🔄 Reposts: 124

# Google Antigravity が拡張 — Gemini CLI を統合し「Science Skills」で研究ワークフローも対象に

## 🔍 何が起きた？

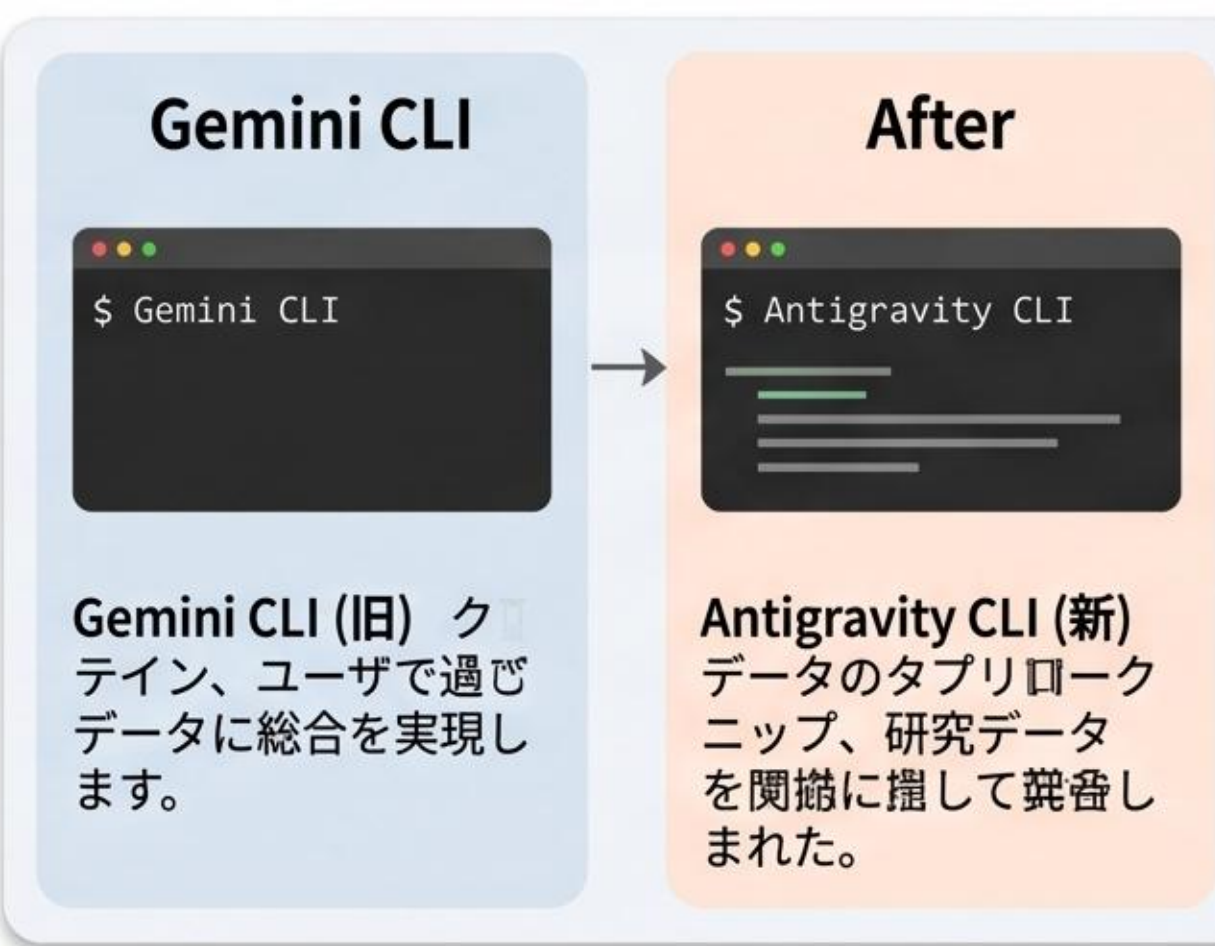
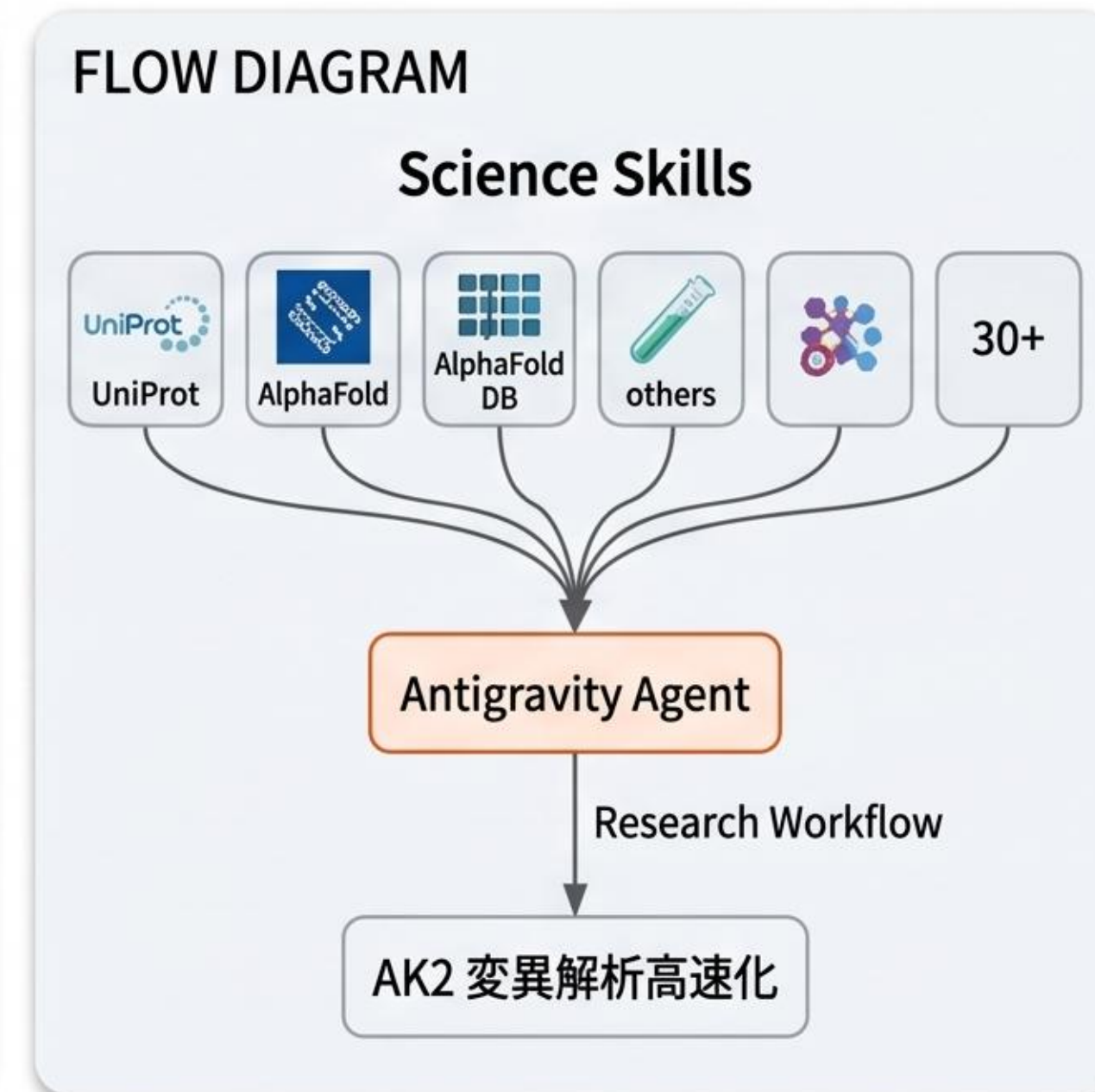
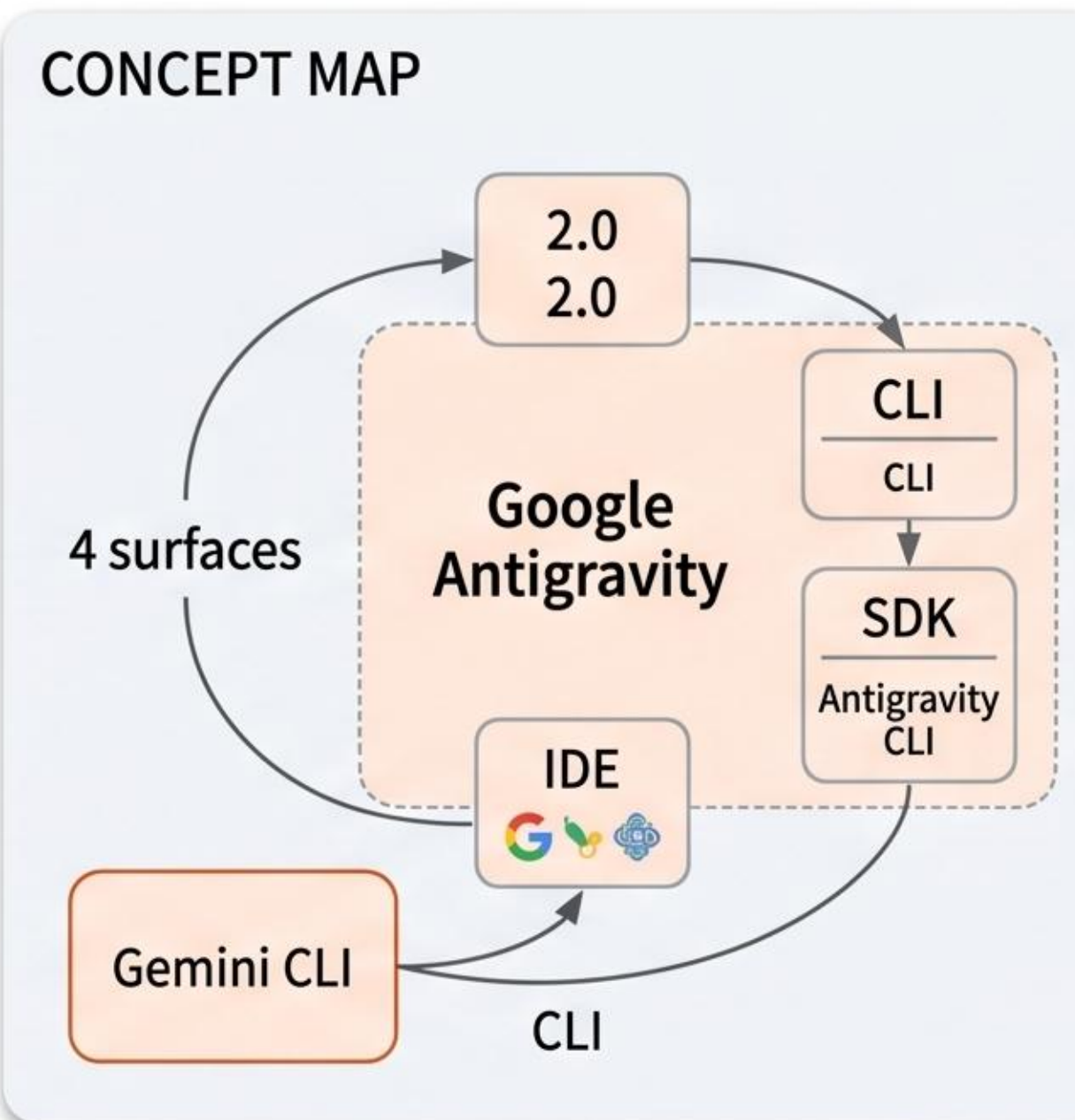
Google が AI 開発基盤を「Antigravity」に一本化する動きを進めている。Gemini CLI ユーザーは Go で再構築された「Antigravity CLI」へ移行し、Antigravity は 2.0 / CLI / SDK / IDE の 4 surface に集約される。あわせて DeepMind は Antigravity 向けに「Science Skills」を発表 — UniProt や AlphaFold Database を含む 30 以上の生命科学データ源を統合し、研究ワークフローに専門\*\*ツールキットを与える。

## 📌 主な変更点

- Gemini CLI を含む取り組みを単一 harness 「Google Antigravity」に統合 (2.0 / CLI / SDK / IDE の 4 surface)
- Antigravity CLI は Go で再構築、ターミナルでマルチエージェント・オーケストレーションと非同期ワークフローに対応
- Antigravity 向け「Science Skills」を発表 — UniProt / AlphaFold Database など 30 以上の生命科学データ源を統合
- 実証例: AK2 変異の希少遺伝性疾患の構造解析を通常より高速に実施し新知見を獲得
- Claude Code / Cursor の「Skills」同様、ドメイン特化の知識パックをエージェントに差し込む設計が各社に拡大

## 💡 なぜ重要？

- AI開発環境の断片化解消
- 開発者ツール (CLI) の進化 (Go, マルチエージェント)
- AIと専門科学データの融合加速 (DeepMind Science Skills)
- ドメイン特化型AIエージェントの標準化トレンド



**Gemini CLI → Antigravity CLI 移行告知**  
 👍 4,334 Likes / 🔄 586 Reposts / 📌 1,211 Bookmarks

**Science Skills 発表**  
 👍 244 Likes / 🧪 30+ 生命科学データ源

“Gemini CLI → Antigravity CLI 移行告知”  
 👍 4,334 Likes / 🔄 586 Reposts / 📌 244 Likes 🧪 30+ 生科学データ源

# ChatGPT for PowerPoint — ChatGPT から PowerPoint のスライドを直接生成・編集

## news

## 🔍 何が起きた？ + Summary

OpenAI が ChatGPT と Microsoft PowerPoint を連携させる「ChatGPT for PowerPoint」アプリを公開。PowerPoint 内で新規スライドを作成し、デッキ全体に対して質問し、PowerPoint 上で直接更新を反映できる。Greg Brockman は「もうひとつの非常に興味深いビルド」と紹介。

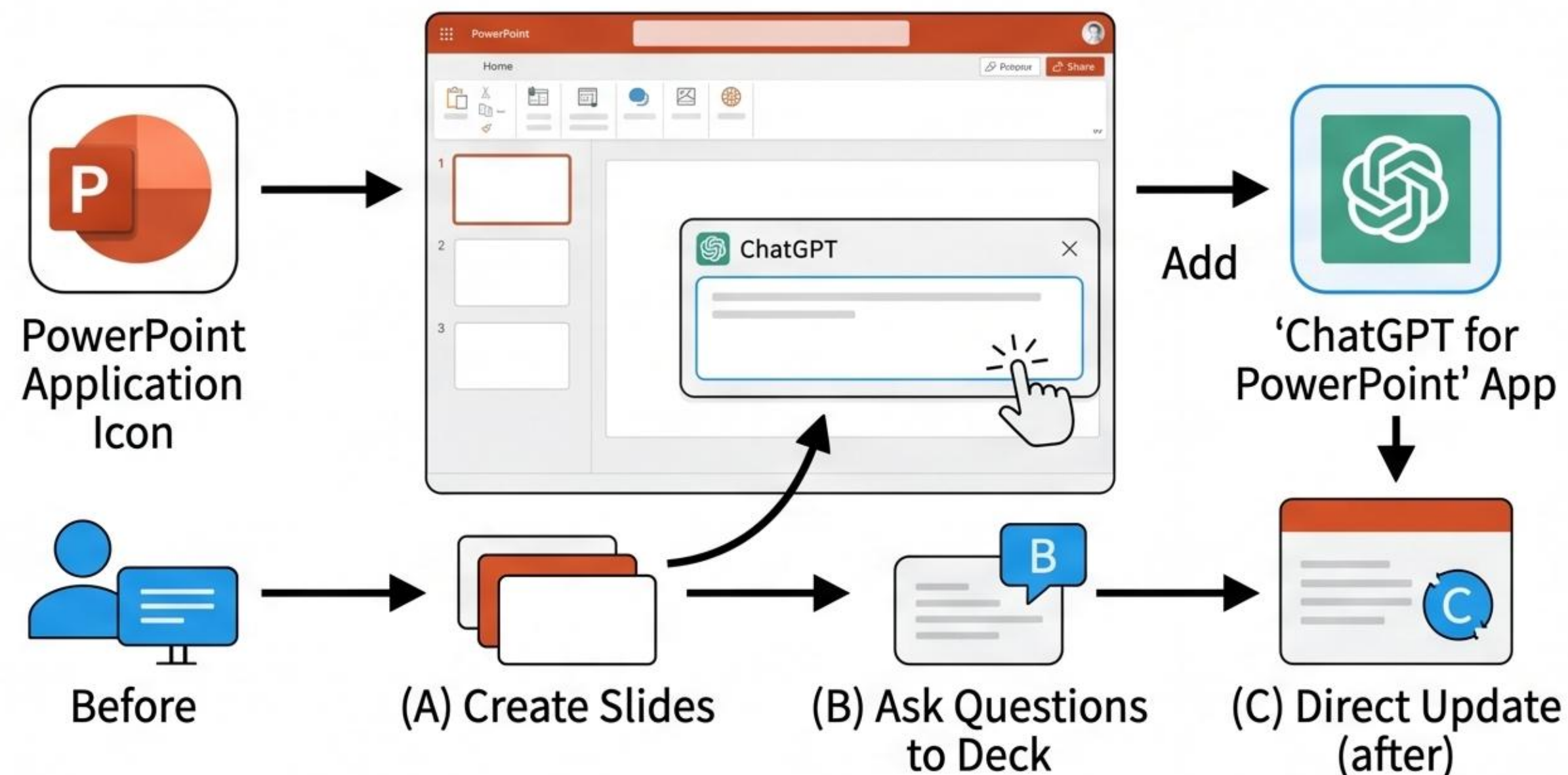
## 📌 主な変更点

- ChatGPT アプリとして PowerPoint と連携 ([chatgpt.com/apps/powerpoint/](https://chatgpt.com/apps/powerpoint/))
- 新規スライド作成、デッキ全体への横断的な質問、PowerPoint 上での直接編集が可能
- Office 連携系プロダクトの一環として OpenAI が拡充中

## 💡 なぜ重要？

ChatGPTがプレゼンテーション作成ツールと直接連携することで、ワークフローが飛躍的に効率化される。Office エコシステムへの統合は、実用性の高いAI 活用を加速させる。

## How to use



## ✕ Xでの反応 / 反響

Greg Brockman による紹介ポスト

# 345 likes

Office 連携の実用性に関心が集まっている。

## 🔍 何が起きた？

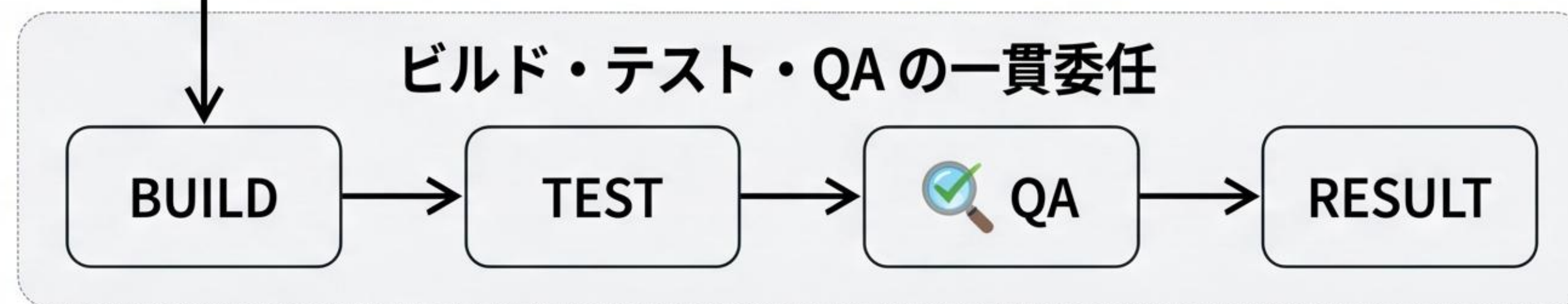
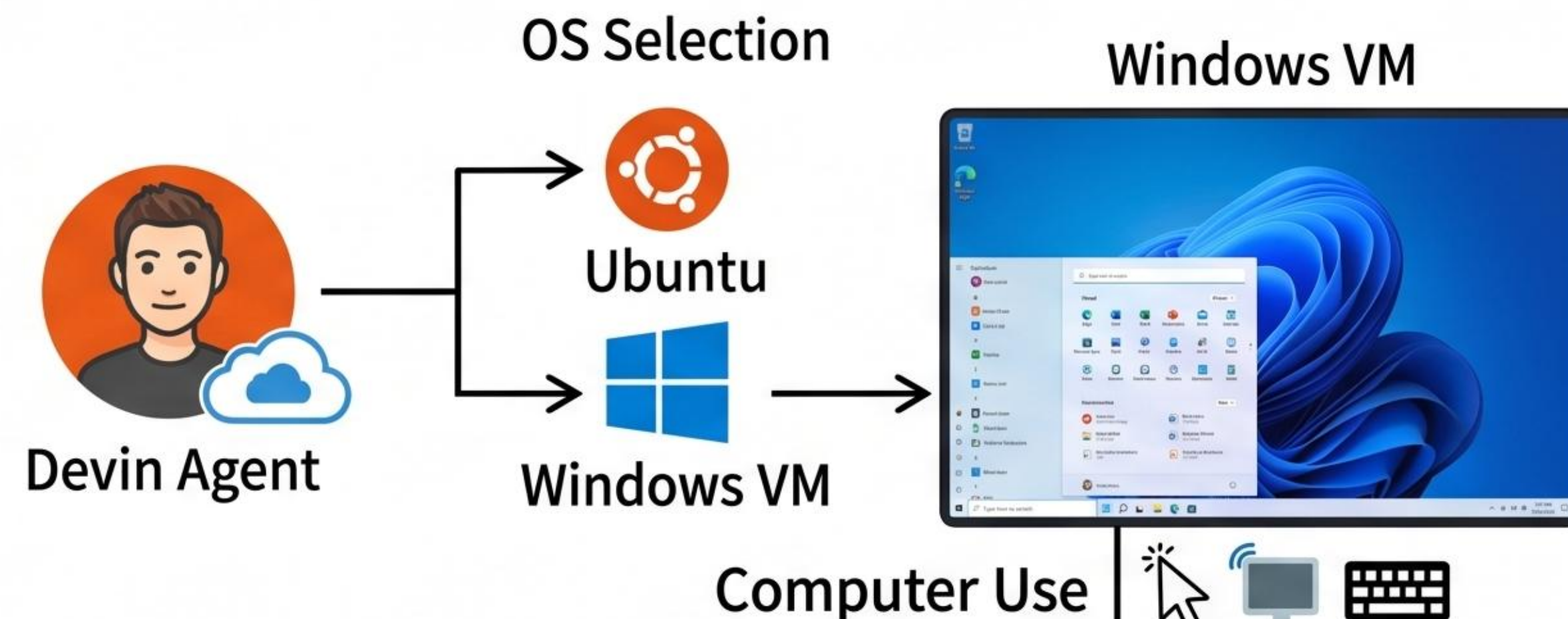
非同期クラウドエージェント「Devin」が Windows VM のサポートを追加した。Devin セッションの設定で VM の OS を Ubuntu / Windows から選択でき、Windows 上での Computer Use にも対応する。

## 📌 主な変更点

- Devin セッションで VM OS を Ubuntu / Windows から選択可能、デフォルト OS も設定可
- Windows 上での Computer Use に対応 — Windows ネイティブアプリの操作を自動化
- ビルド・テスト・QA をクラウドエージェントに一括委任できる
- 現状 macOS VM は未対応（要望として挙がっている）

## 💡 なぜ重要？

Windows 専用業務アプリの自動化空白を埋める。業務システムが Windows 中心の企業でエージェント活用の幅が拡大。(X での反応より)



“ Windows 専用の業務アプリは AI エージェントの自動化対象から漏れがちだったが、Windows VM 対応でその空白が埋まる。業務システムが Windows 中心の企業にとってエージェント活用の幅が広がる。 ”

⚠️ macOS support requested

# Claude Code 2.1.146 リリース — /simplify が /code-review に、金融・法務特化モデルも追加

## 🔍 何が起きた？

Claude Code CLI 2.1.146 がリリース。16 件の変更を含む。

## 📌 主な変更点

- /simplify → /code-review にリネーム。/code-review high で effort level (レビュー粒度) を指定可能
- Auto モード: AskUserQuestion 必須プロンプトの保持表示。ユーザー依存プロンプトに対応
- Backgrounded session: 「don't ask again」ツールの権限保持。再プロンプト無し
- 新環境変数: CLAUDE\_BG\_SESSION\_PERMISSION\_RULES, CLAUDE\_CODE\_WORKFLOWS
- 新モデル: claude-for-financial-services, claude-for-legal

## 💡 なぜ重要？

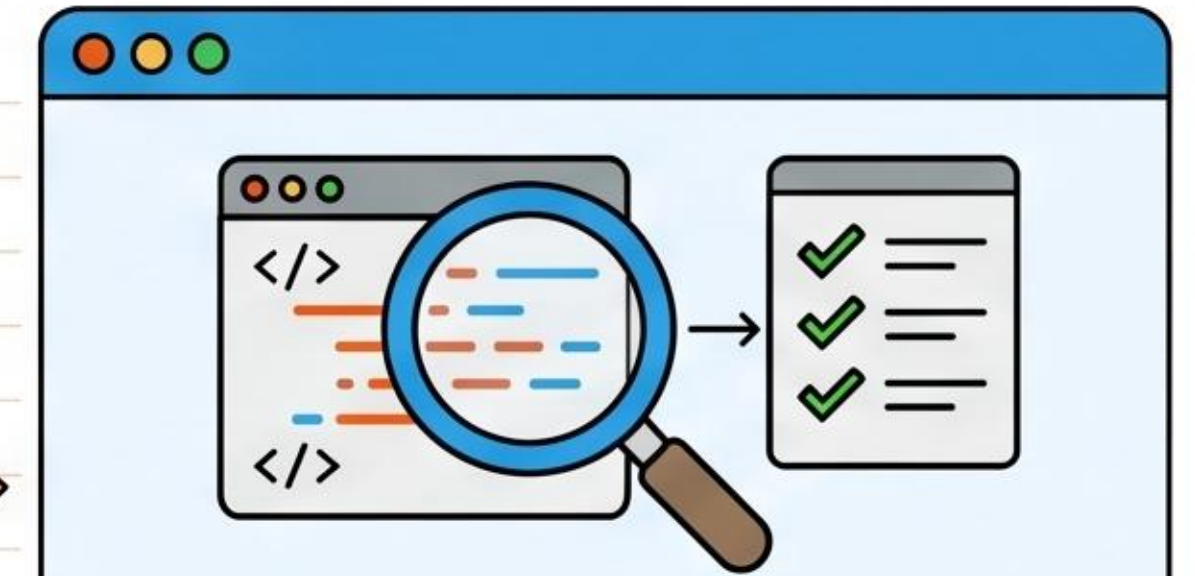
CLIの驚異的な進化スピード。頻繁なアップデートと専門モデルの追加で、AIエージェントの適用範囲が金融・法務にも広がり、開発プロセスの高度化が進む。

### Before: /simplify



単一機能  
(簡略化のみ)

### After: /code-review



レビュー粒度指定可能

/code-review high  
effort-level:   
↳ 深層レビュー

### Numerical Highlights

**16**  
総変更件数

**155**  
X反応

**541**  
Likes

Bookmarks  
X反応

### Specialized Models Illustration



新特化モデル追加  
claude-for-financial-services  
claude-for-legal

## 🔍 何が起きた？

Andrej Karpathy が正式に加入（5/19 発表）。中文圏のAI分析者は、これを2026年における最重要の「分水嶺」イベントと位置づける。Karpathy は pretraining（事前学習）チームに所属。

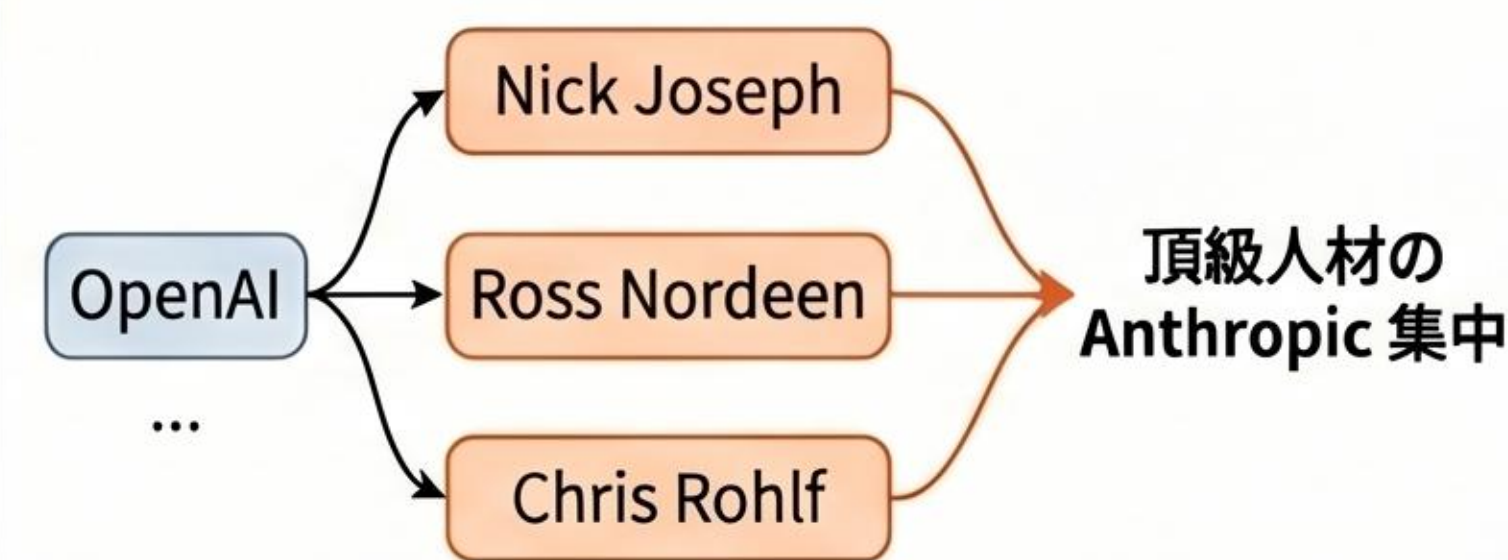
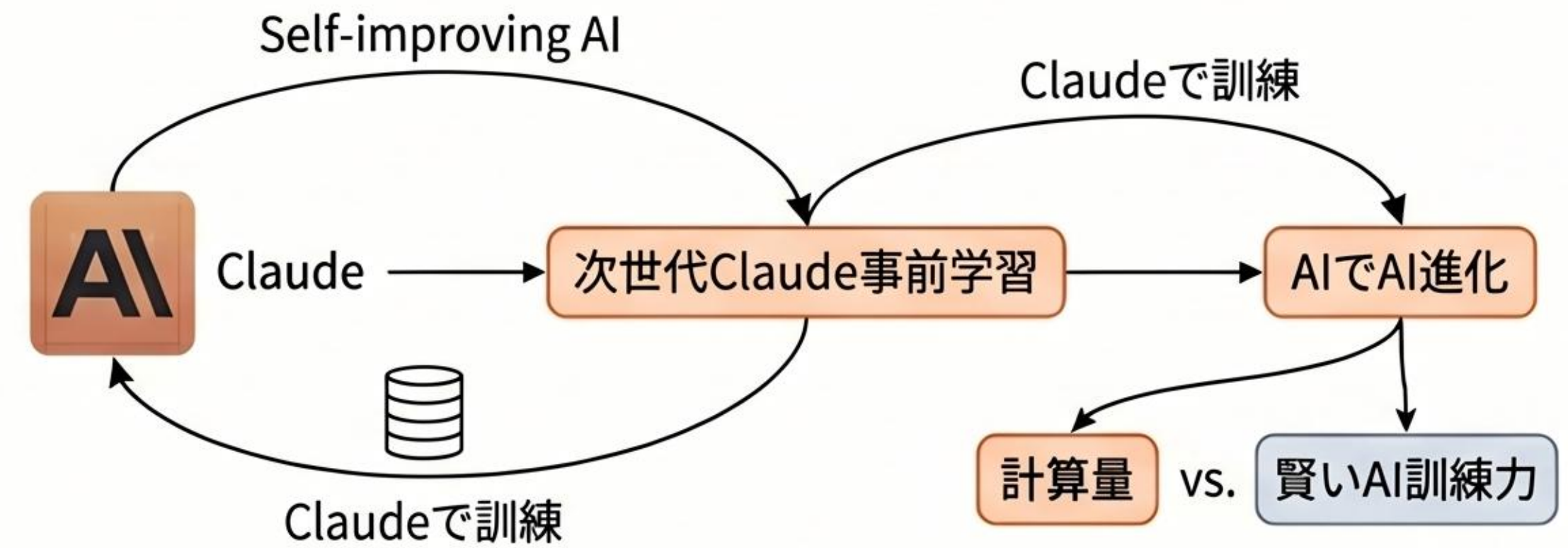
## 📌 主な変更点

- Karpathy は Anthropic pretraining チームに加入し、上司は元 OpenAI lead の Nick Joseph。
- ミッションは「Claude を使って次世代 Claude の事前学習を加速する」= AIでAIを進化させる賭け。
- Nick Joseph、Ross Nordeen、Chris Rohlf ら頂級人材の Anthropic への集中。

## 💡 なぜ重要？

- AI 競争の核心が「算力量」から「AIで賢くAIを訓練する力」へ移る。
- 頂級人材が Anthropic へ「用脚投票」（実力行使）している。
- Anthropic の上昇局面。
- 4月の Ramp AI Index でエンタープライズ採用率 34.4% と OpenAI（32.3%）を史上初逆転。
- Karpathy 自身の「get back to R&D」発言が、近年の自分の仕事を「もう研究ではなかった」と振り返る重い告白。

ミッション: Claudeで次世代 Claude を訓練する — AIでAIを進化させる賭け



## 4月 Ramp AI Index Enterprise Adoption

Anthropic 34.4%  
OpenAI 32.3%



4月の企業採用で史上初の再逆転

## Xでの反応

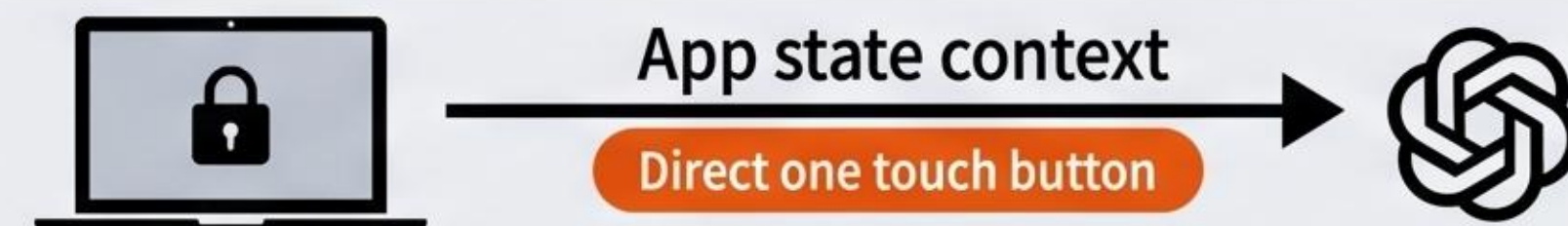
503,818 views / 179 bookmarks  
中文圏で「分水嶺」フレームの読み解きが共感を集める。

# 本日のトピック一覧 | 今日のまとめ

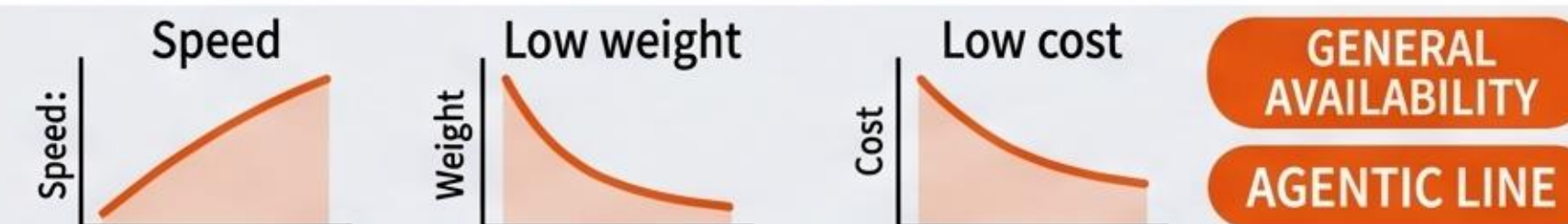
1 OpenAI の汎用推論モデルがエルデシュ予想を反証  
AI が初の未解決数学問題を自力解決



2 OpenAI Codex 「Appshots」 と画面ロック時のコンピュータ操作  
Mac の文脈をワンタッチでエージェントへ



3 Google 「Gemini 3.5 Flash」 が一般提供開始  
軽量・高速・低コストの agentic 向けライン



4 Google Antigravity が拡張  
Gemini CLI を統合し 「Science Skills」 で研究ワークフローも対象に



5 ChatGPT for PowerPoint  
ChatGPT から PowerPoint のスライドを直接生成・編集



6 Devin が Windows VM をサポート  
Windows アプリの Computer Use ・ビルド ・QA まで一気通貫



7 Claude Code 2.1.146 リリース  
/simplify が /code-review に、金融・法務特化モデルも追加



8 Karpathy の Anthropic 加入を 「分水嶺」 と読む  
中文圏の深掘り解説

